

## 第4章 滝川市子ども・子育て支援に関するニーズ調査の概要(H31.1)

### 1. 調査の目的

滝川市の子ども・子育てに関する利用状況やニーズを把握するため、未就学の子ども及び小学生の保護者を対象とするアンケート調査を実施しました。

調査票の種類	対象者	配布数
未就学の子ども の保護者用	(平成30年4月1日現在) 市内在住の就学前子どもの保護者	997票
小学生の保護者用	(平成30年4月1日現在) 市内在住の小学生の保護者	1,003票

※配布先は無作為抽出により選定。年齢別、地域別ごとに偏りが無いことを確認しています。

※未就学児と小学生の両方を持つ世帯が抽出された場合には、両方の調査票を送付しました。

### 2. 調査の方法

調査は、配布・回収ともに郵送により実施しました。

### 3. 調査期間

平成31年1月10日から平成31年1月31日までとして実施しました。

※調査期間以降に届いた回答も可能な限り集計に含めることとしました。

### 4. 回収数と回収率

調査票の種類	配布数	回収数	回収率
未就学の子ども の保護者用	997票※	446票	44.7%
小学生の保護者用	1,003票	423票	42.2%
合計	2,000票	869票	43.4%

### 5. 本報告書の留意点

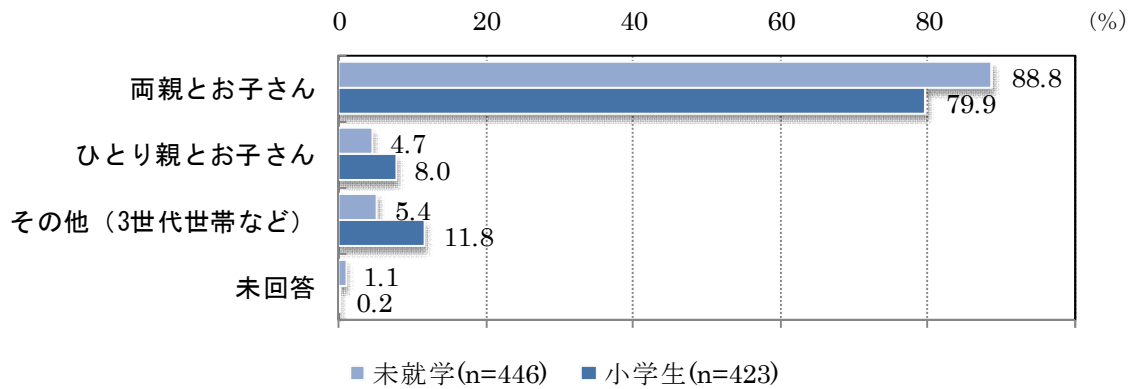
- ① 比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出しています。したがって、合計が100%を上下する場合があります。
- ② 基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出しています。
- ③ 【複数回答】とある問は、1人の回答者が2つ以上の回答を題してもよい問であり、従って、各回答の合計比率は100%を超える場合があります。
- ④ 文中、図表中の選択肢の文言は作図等の都合により一部簡略化しています。
- ⑤ 問の中には、「～に〇をつけた方にうかがいます。」などいろいろな制限があり、回答者数が少なく、有意性の低いものも含まれます。

### 6. ニーズ調査結果(次頁以降、概要を掲載しています)

# 1. お子さんご家族の状況について

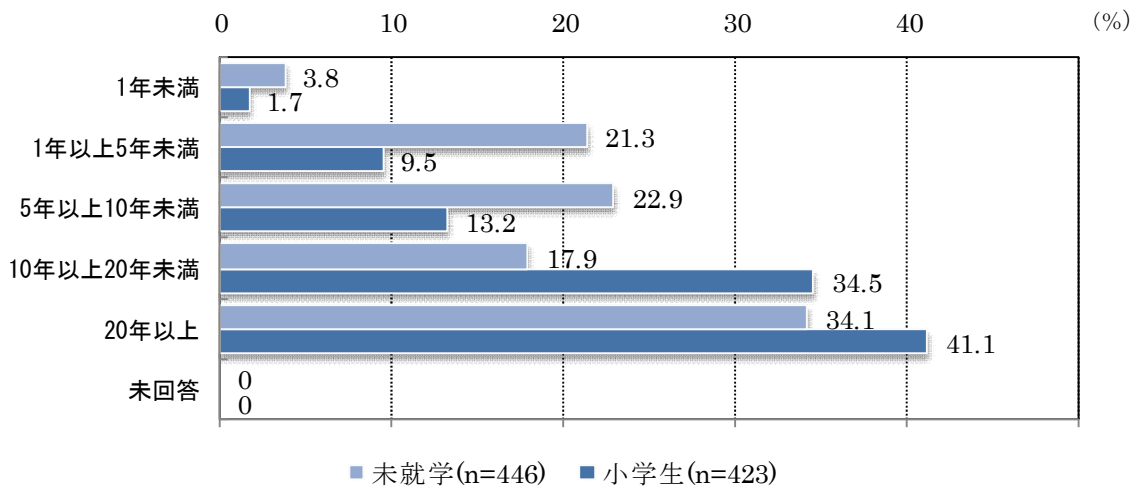
## (1) 家族構成

◇ 前回の調査（5年前）と比較すると、ひとり親家庭の比率が増加しています。



## (2) 滝川市における居住年数

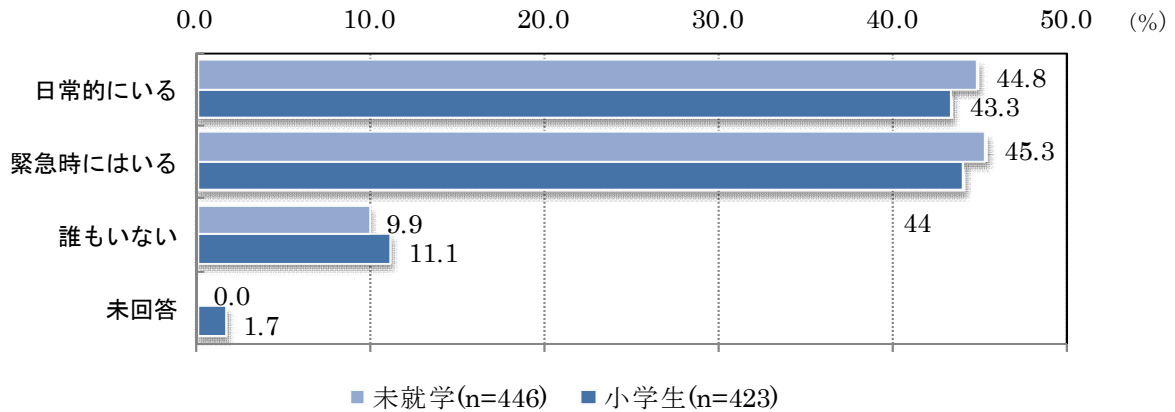
◇ 前回の調査と比較すると、いずれも10年以上20年未満、20年以上の比率が増加しています。



## 2. 子どもの育ちをめぐる環境などについて

### (1) 面倒をみてもらえる親族・知人

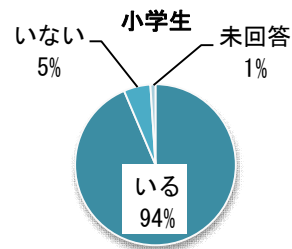
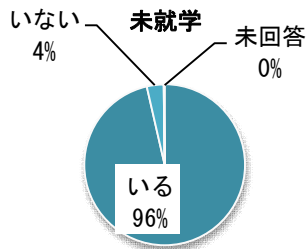
◇前回調査から、大きな変化は見られません。



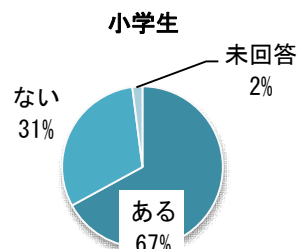
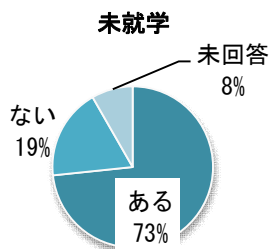
### (2) 子育てを気軽に相談できる人(場所)

◇ 相談できる人が「いる」、相談できる場所が「ある」との回答は、いずれも比率が増えています。

#### ◆子育てを相談できる人の有無

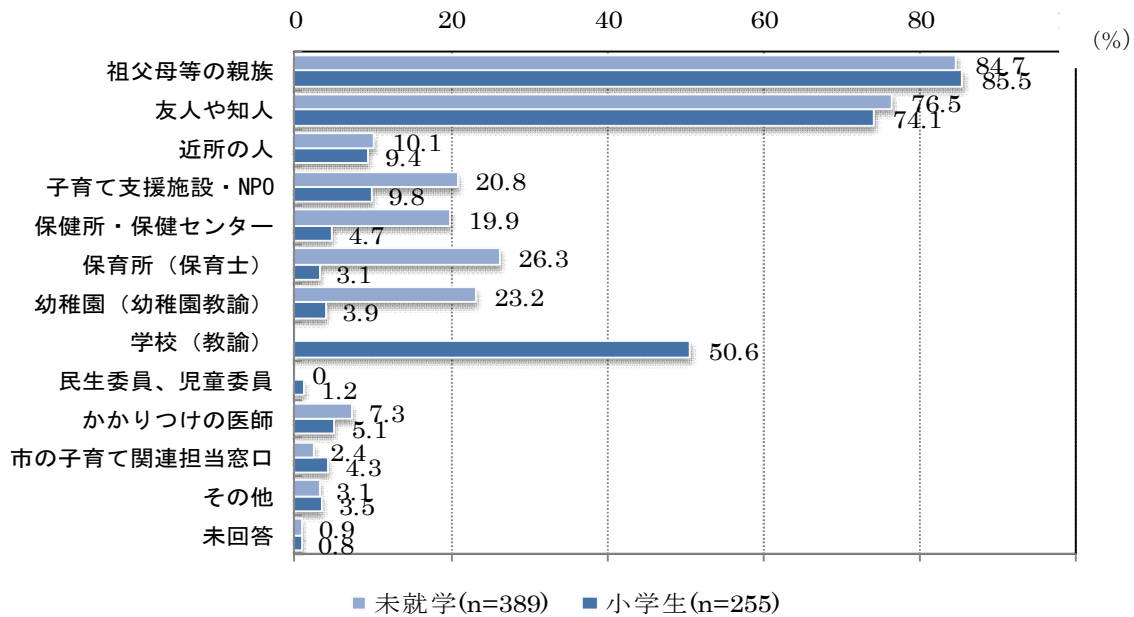


#### ◆子育てを相談できる場所の有無



### ◆子育てを相談できる人（場所）【複数回答】

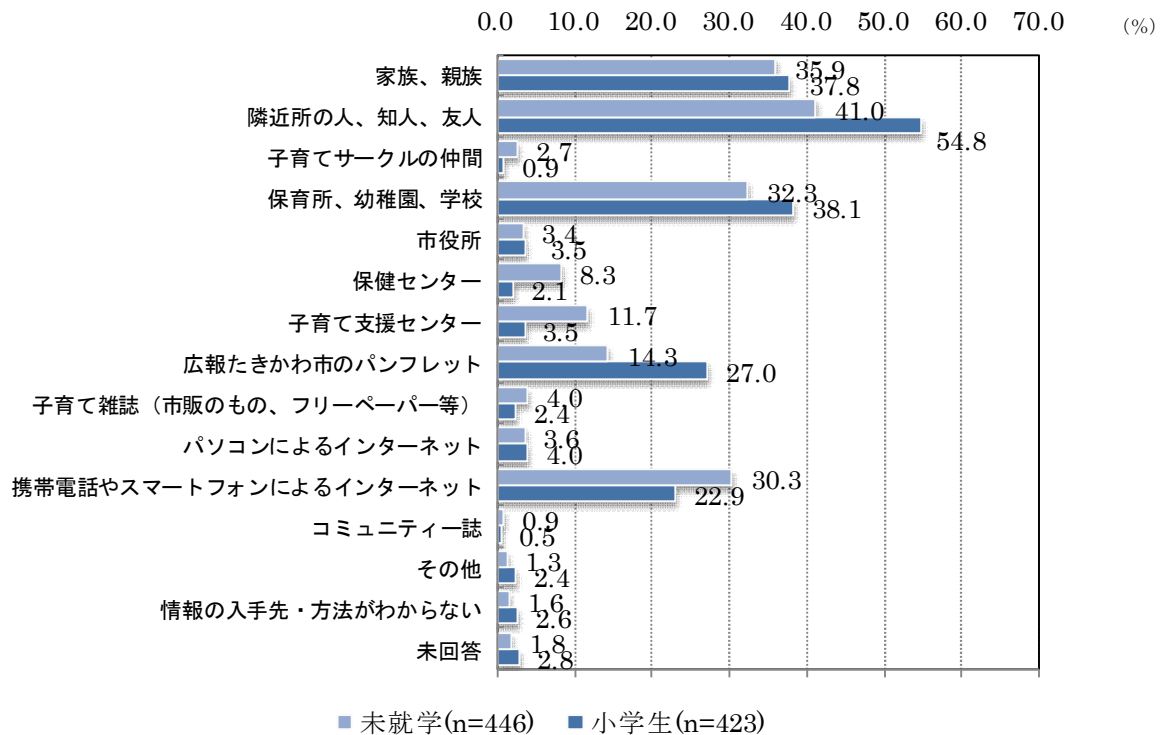
◇ 学校（教諭）の比率が大きく増となっています。



### (3) 子育てに関する情報の入手先

#### ◆子育てに関する情報の入手先【複数回答】

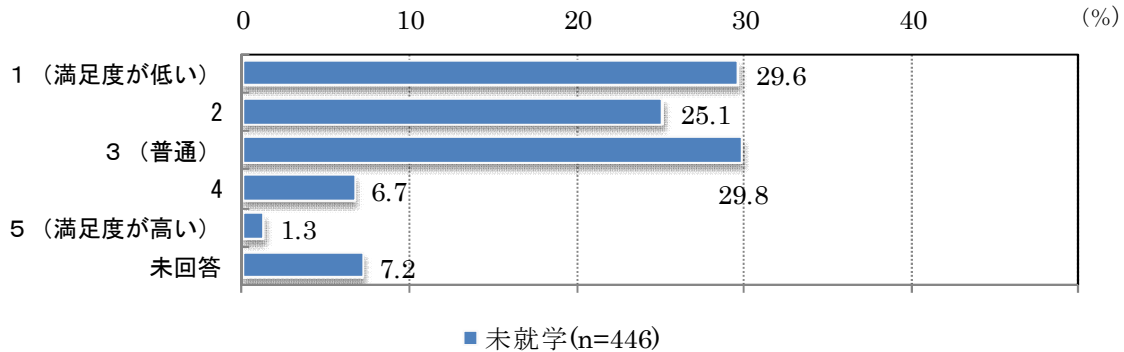
◇携帯電話やスマートフォンによるインターネットの利用のみが大きく伸びています。



## (4) 子育ての環境や支援に対する満足度

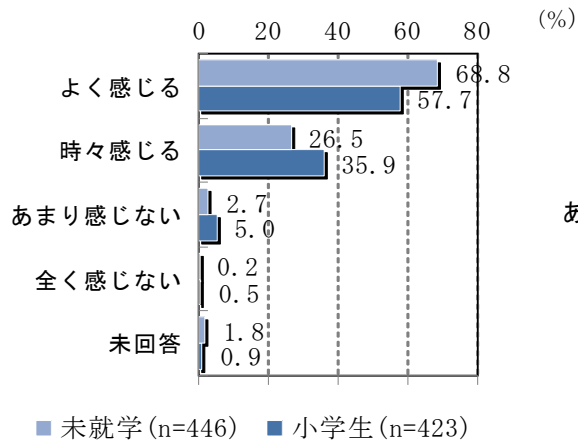
### ◆子育ての環境や支援に対する満足度

◇前回調査よりも、1、2と回答する比率が上昇しています。

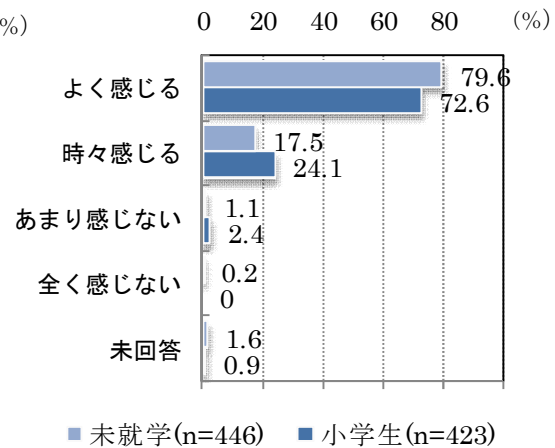


## (5) 子育てをしていて楽しいと感じる

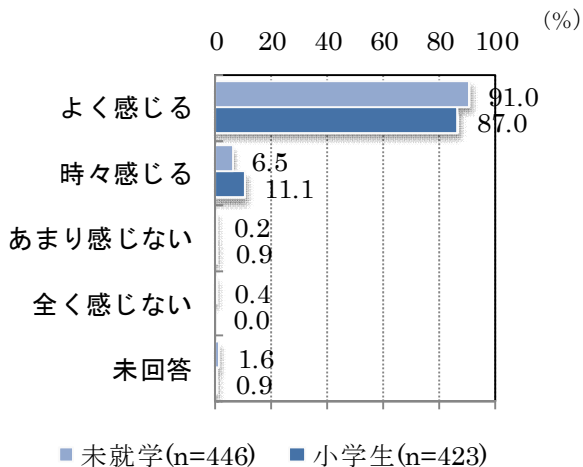
### ◆子どもを育てるのは楽しい



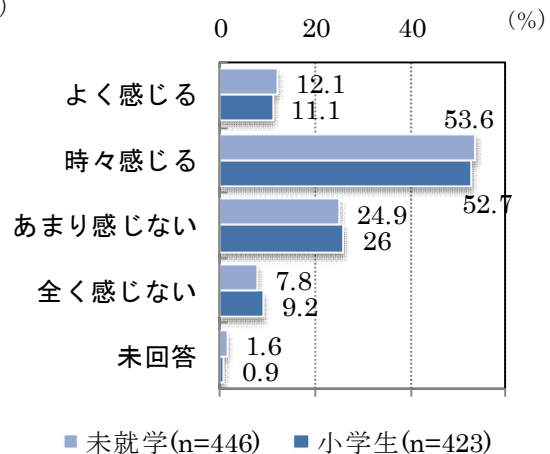
### ◆子どもの顔を見ると気持ちが安らぐ



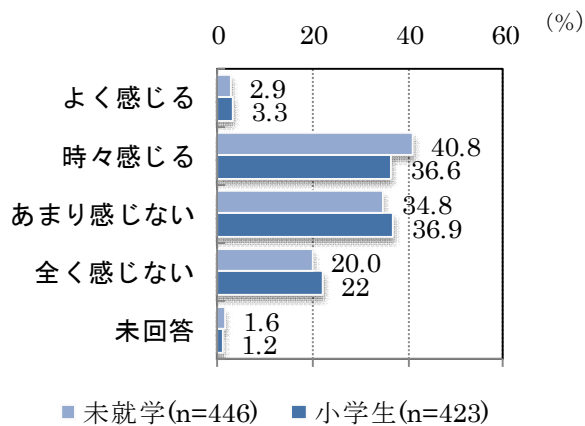
### ◆子どもがいると家庭が明るくなる



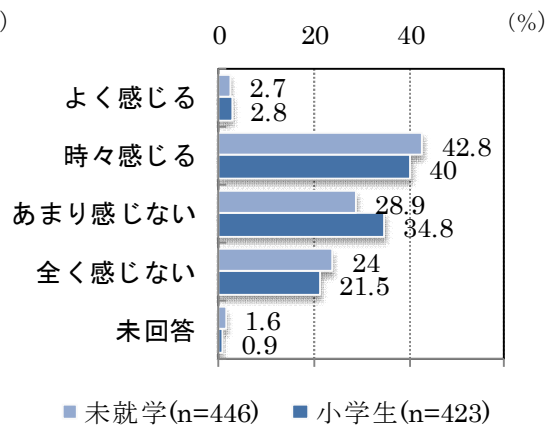
### ◆子育てに不安や負担を感じる



◆子どもの世話が嫌になる



◆子どもを叩きたくなくなることや、あたりたくなることがある



(6) 子育てに関する不安や悩み

◆(4) - 1 子育てに関する不安や悩み (子どものこと) 【複数回答】

	未就学の保護者 (n=434)	小学生の保護者 (n=415)
1位	子どもの食事や栄養のこと 42.2%	勉強や進学のこと 64.8%
2位	勉強や進学のこと 31.4%	子どもの食事や栄養のこと 21.4%
3位	指しゃぶり、夜泣き、性格や行動のこと 28.5%	特にない 19.8%

◆(4) - 2 子育てに関する不安や悩み (自分のこと) 【複数回答】

	未就学の保護者 (n=427)	小学生の保護者 (n=413)
1位	自分の時間を十分にもてないこと 38.3%	特にない 36.1%
2位	育児で疲れること 30.5%	子どもとの時間を十分にもてないこと 27.6%
3位	特にない 24.9%	自分の時間を十分にもてないこと 23.0%

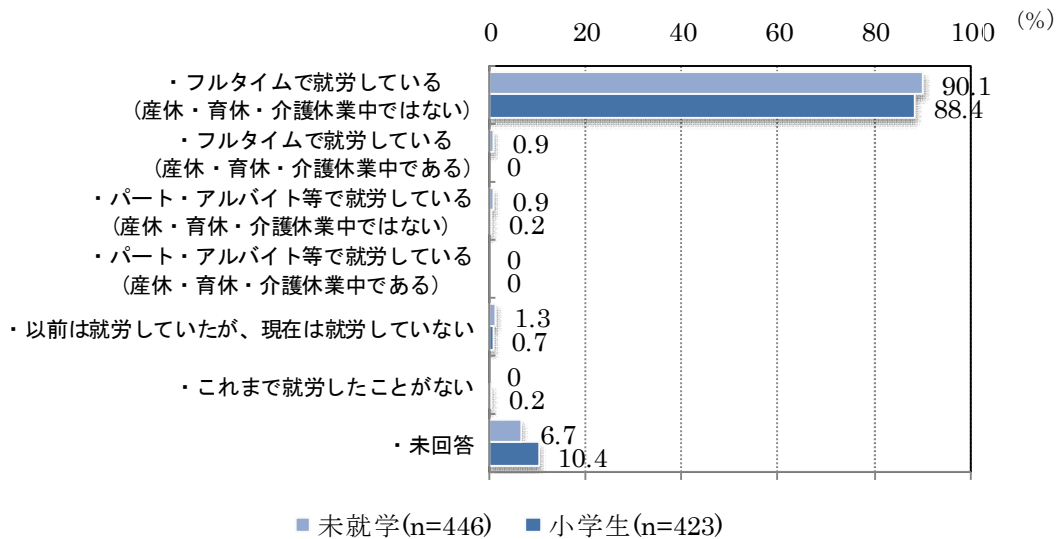
◆(4) - 3 子育てに関する不安や悩み (家庭のこと) 【複数回答】

	未就学の保護者 (n=422)	小学生の保護者 (n=409)
1位	特にない 43.0%	経済的な不安・負担 46.0%
2位	経済的な不安・負担 41.7%	特にない 44.0%
3位	配偶者との関係(育児についての意見の不一致など) 16.8%	配偶者との関係(育児についての意見の不一致など) 15.6%

### 3. 保護者の就労状況について

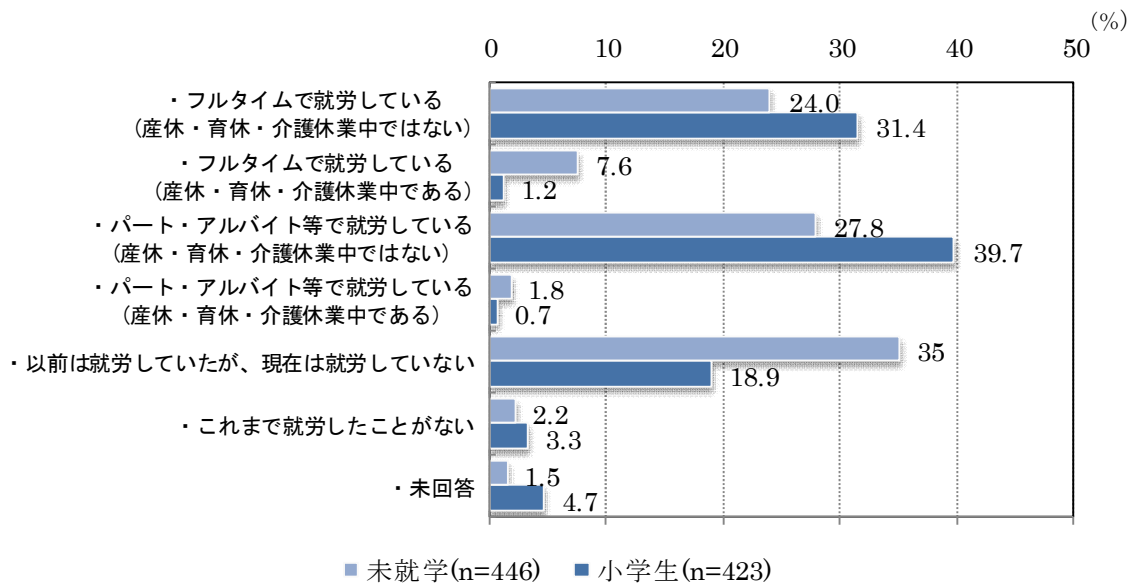
#### (1) 父親の就労状況

◇フルタイムで就労している父親の割合は、前回調査よりも上昇しています。



#### (2) 母親の就労状況

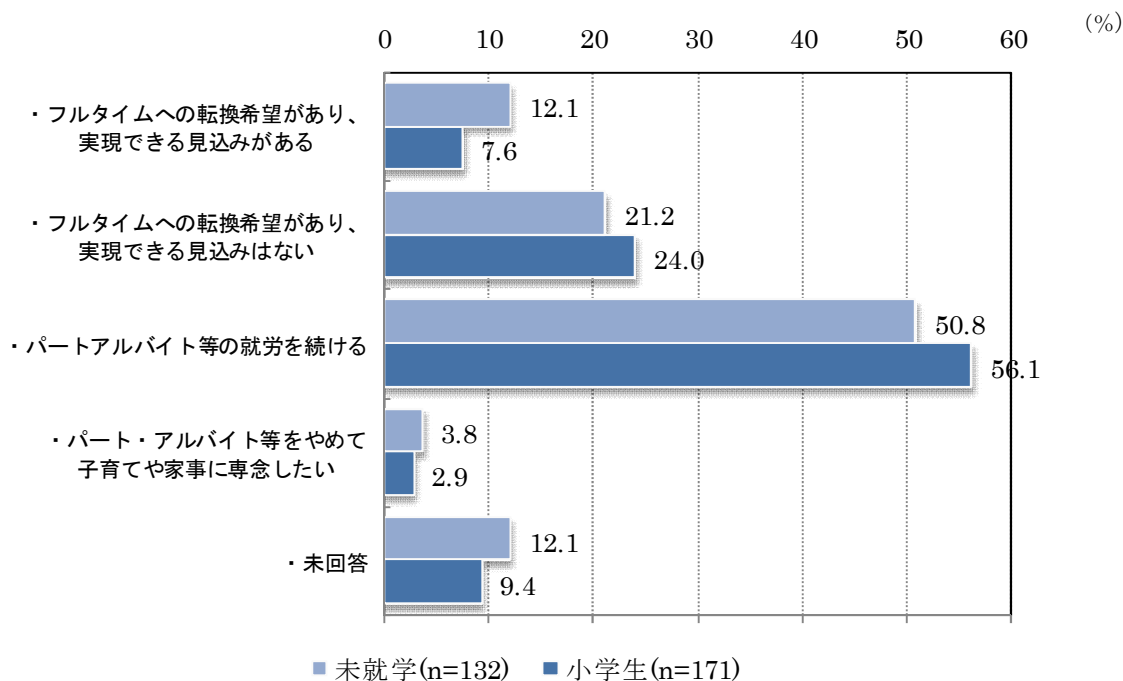
◇フルタイムで就労している小学生の母親の割合は、前回調査よりも上昇し、特に未就学世帯で伸びています。



### (3) 母親の就労希望

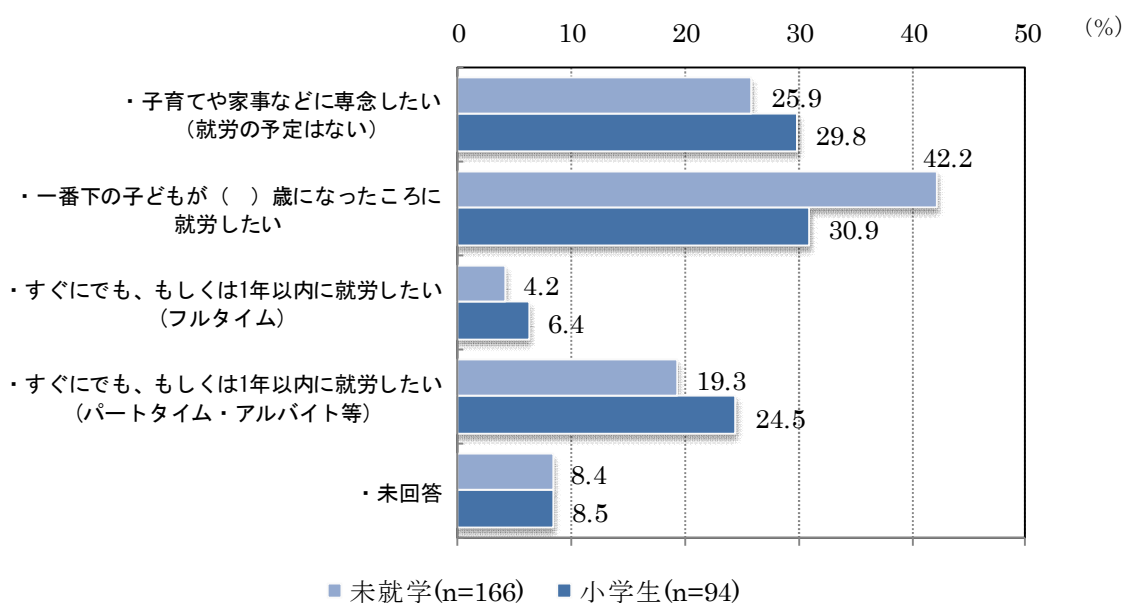
#### (3) - 1 パート・アルバイト等で働いている母親のフルタイム就労希望

◇フルタイムへの転換希望について、未就学児の母親は前回調査より下降したものの、小学生を持つ母親は上昇しています。



#### (3) - 2 現在就労していない母親の就労希望

◇すぐにも、もしくは1年以内にフルタイムで就労したい世帯の割合は、いずれも上昇しています。

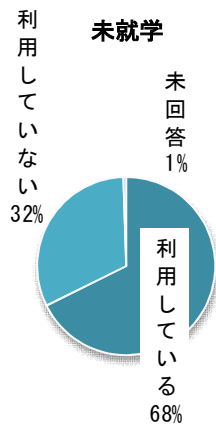




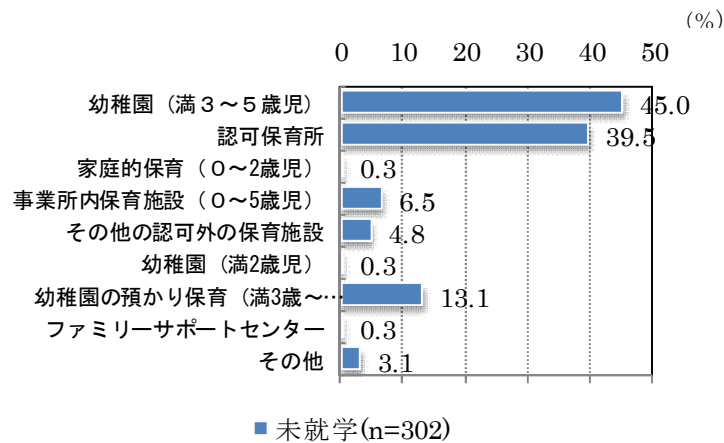
## 4. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

### (1) 教育・保育事業の利用状況

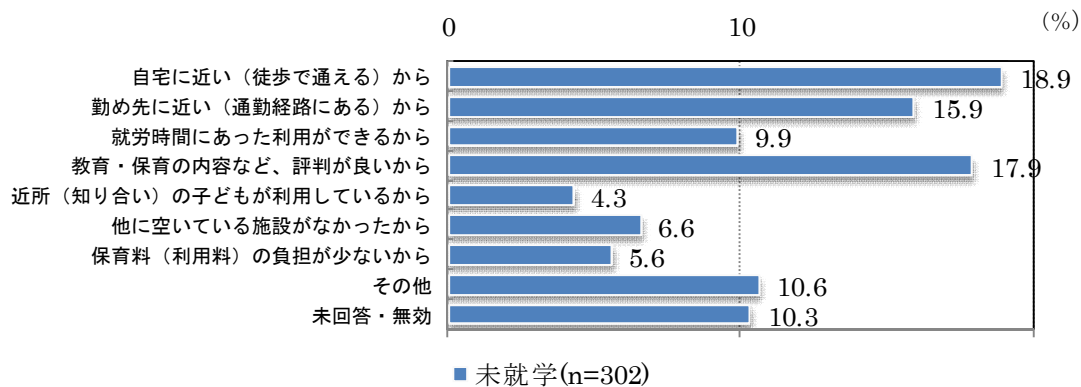
#### ◆教育・保育の利用率



#### ◆利用している教育・保育事業【複数回答】

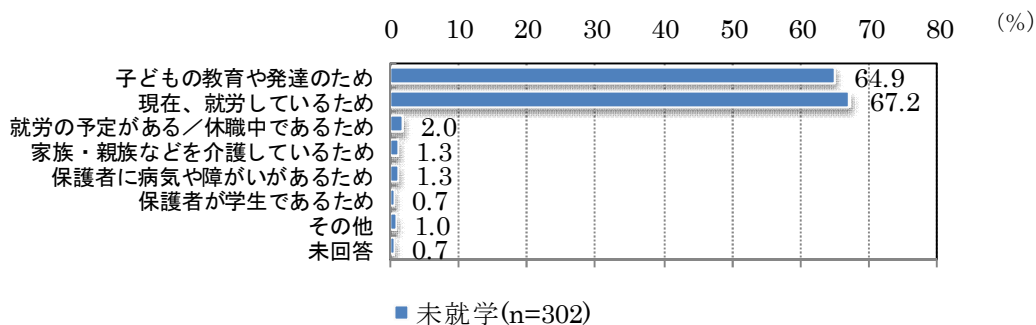


#### ◆利用している教育・保育事業を選んだ理由



#### ◆定期的に教育・保育事業が必要な理由

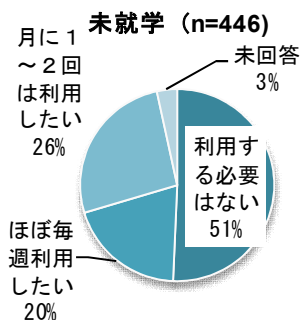
◇現在、就労しているための比率が大幅に上昇しています。



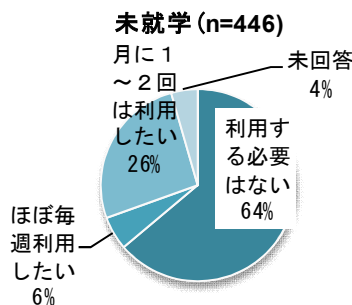
## (2) 教育・保育事業の利用希望

◇土曜日の利用希望について、利用する必要はない、ほぼ毎週利用したいとの回答割合が、ともに上昇しています。

### ◆土曜日の利用希望

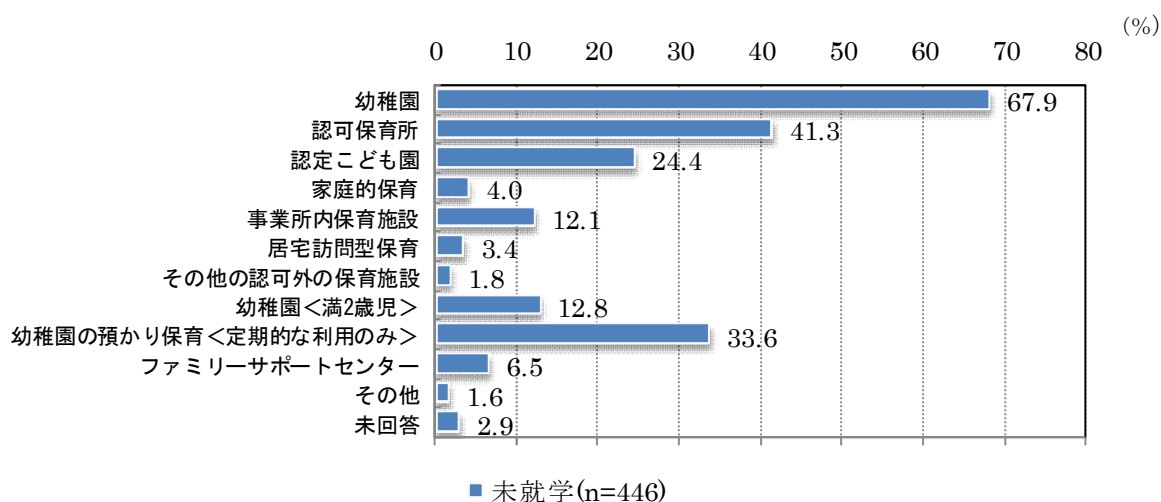


### ◆日曜・祝日の利用希望

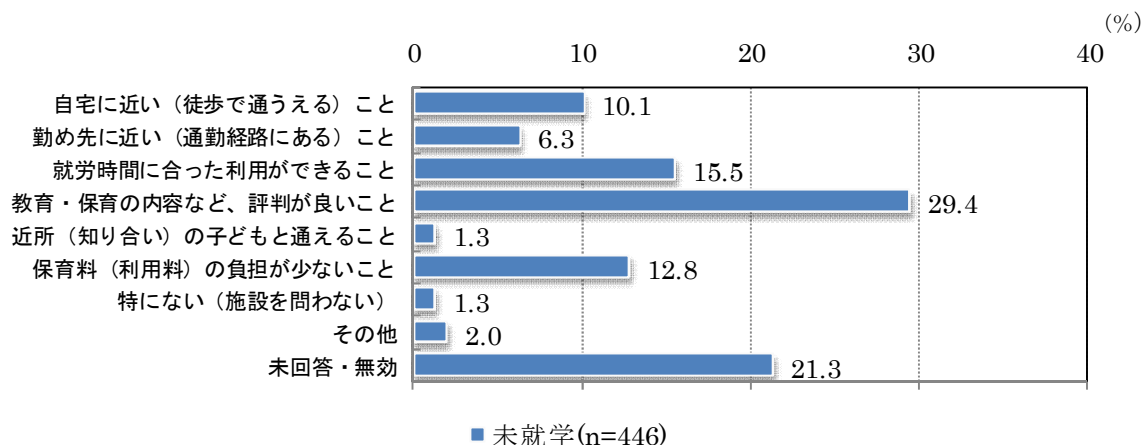


### ◆教育・保育事業の利用希望【複数回答】

◇認可保育所、幼稚園の預かり保育が上昇しています。



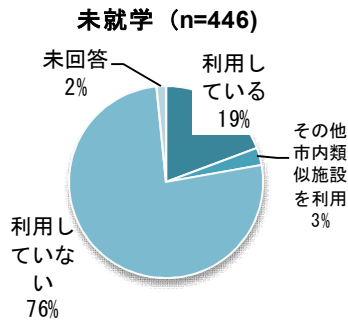
### ◆教育・保育事業を選ぶ判断材料



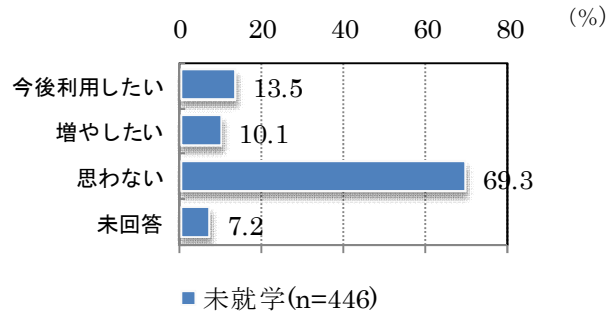
## 5. 地域の子育て支援事業の利用状況

### (1) 子育て支援センターの利用状況

#### ◆子育て支援センターの利用有無

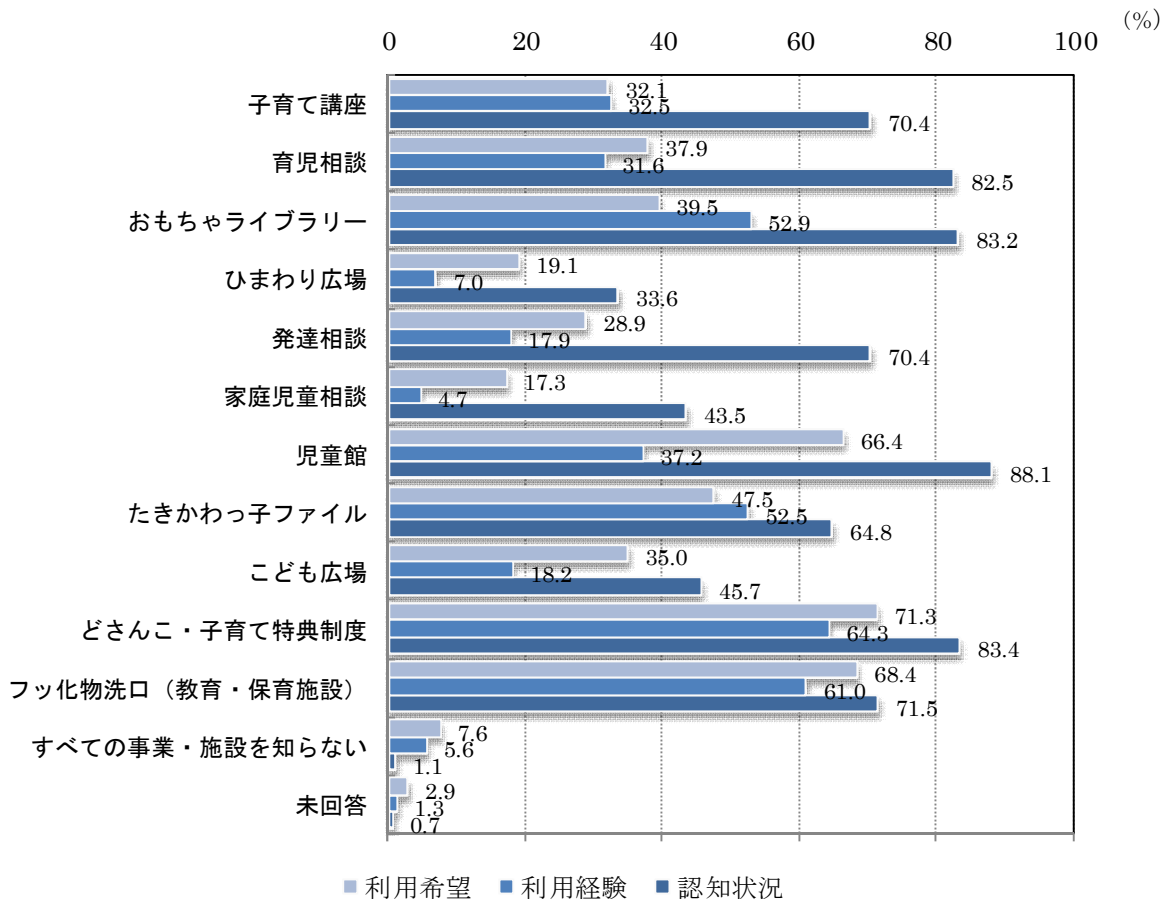


#### ◆利用日数を増やしたいと思いますか



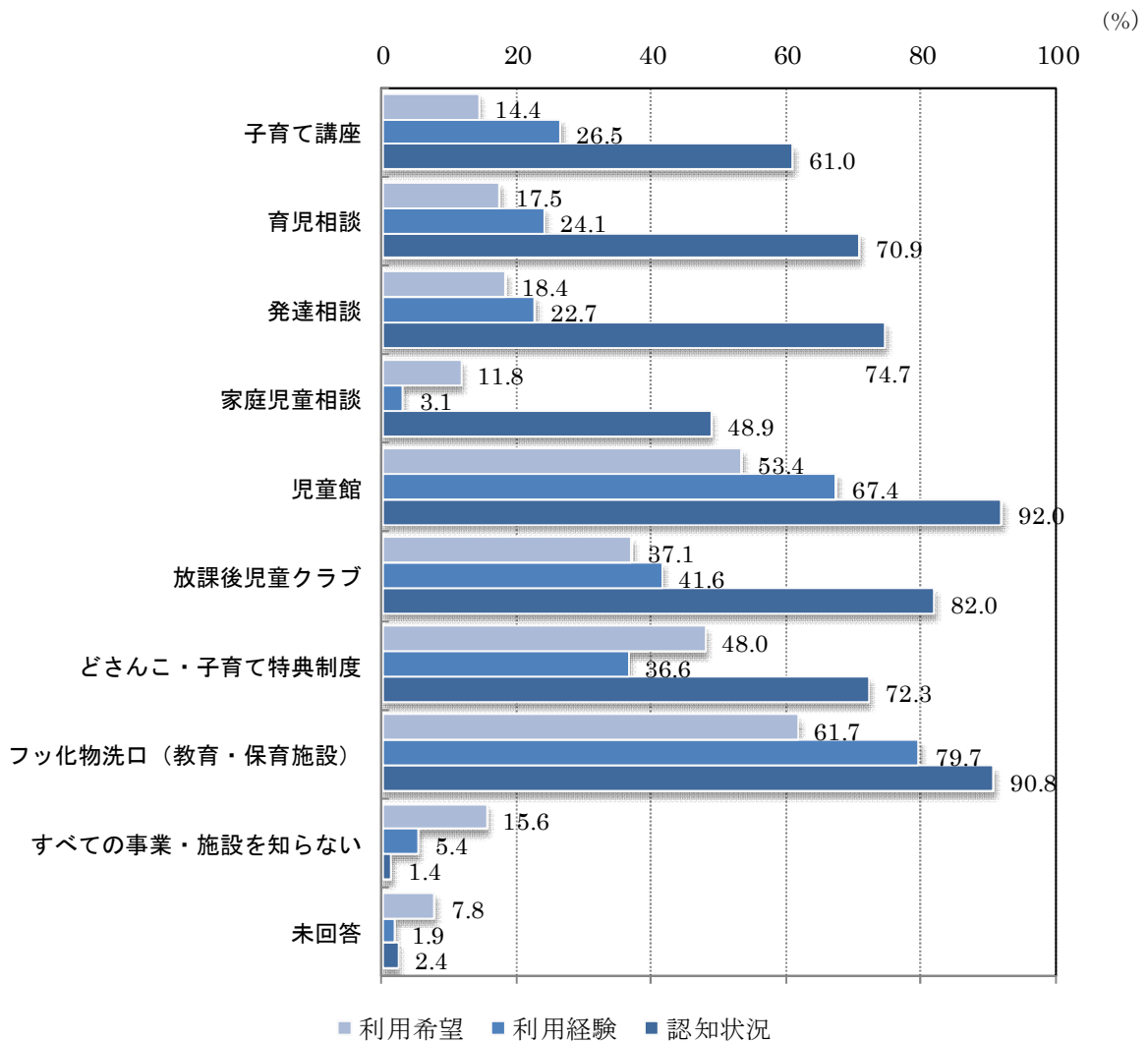
### (2) 子育て支援事業の「認知状況」・「利用経験」・「利用希望」

#### ◆未就学(n=446) 【複数選択】



◆小学生(n=423)【複数選択】

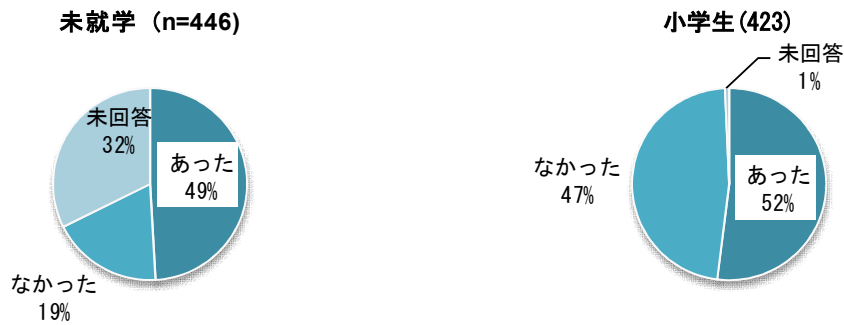
◇ 前回調査と比較して、どさんこ・子育て特典制度の認知度が大きく上昇しています。



## 6. お子さんの病気の際の対応について

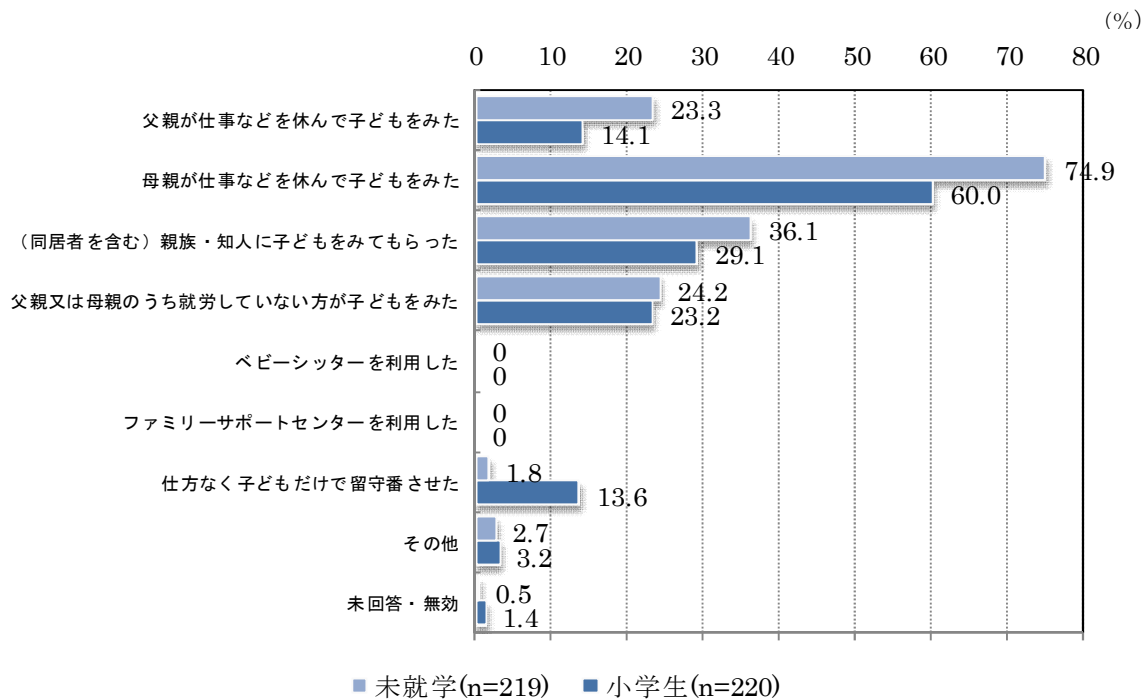
### (1) この1年間の病気やけがの際の対応

#### ◆お子さんが病気やけがで学校や通常の事業が利用できなかったこと



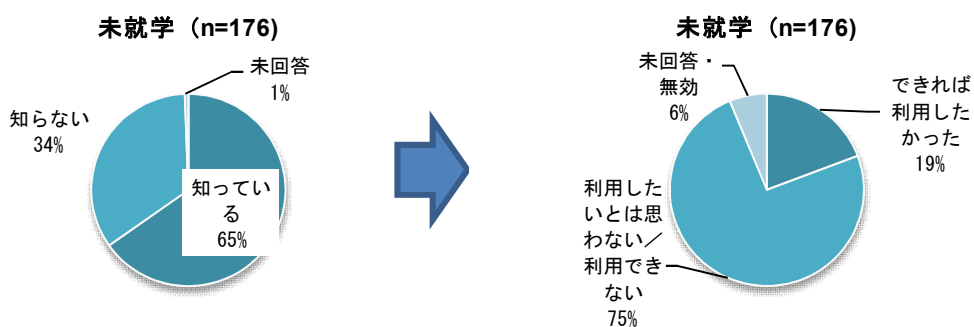
#### ◆対処方法

◇ 母親が仕事などを休んで子どもをみたとの回答が大きく上昇しています。

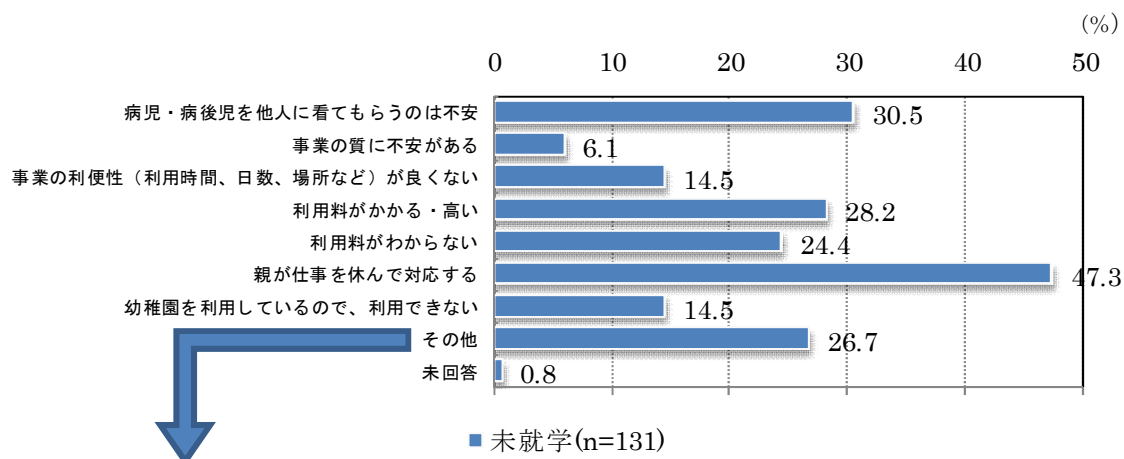


## (2) 滝川中央保育所で実施している「病後児保育」について

### ◆「病後児保育」の認知状況、利用希望、利用したいと思わない／利用できない理由



### ◆利用したいと思わない／利用できない理由



### ◆病後児保育を利用しないその他の主な理由

未就学の保護者 (n=35)		
1位	手続きが煩雑、面倒	22.9%
2位	子どもが不安に感じそう	14.3%
3位	病気の時くらい、親が看てあげたい	11.4%
	子どもが慣れていないところに預けるのは不安	11.4%
	病後でなく、病児に預かってほしい	11.4%

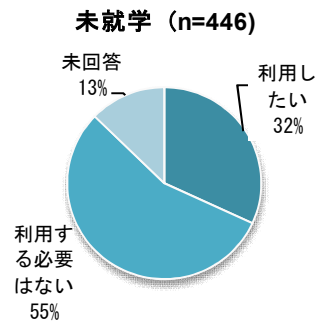
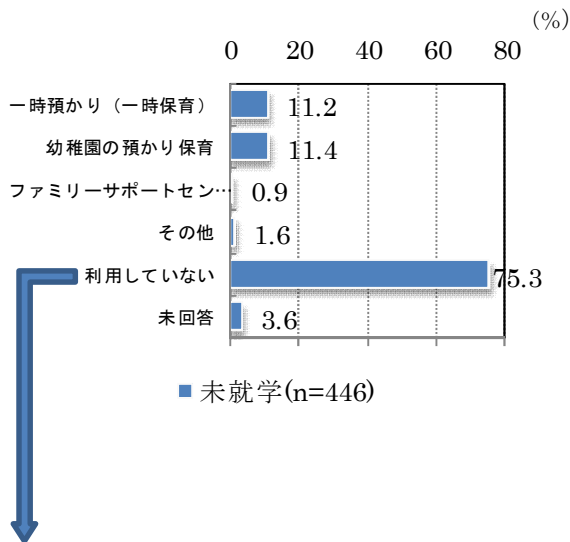
## 7. 不定期教育・保育事業や一時預かりについて

### (1) 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用状況

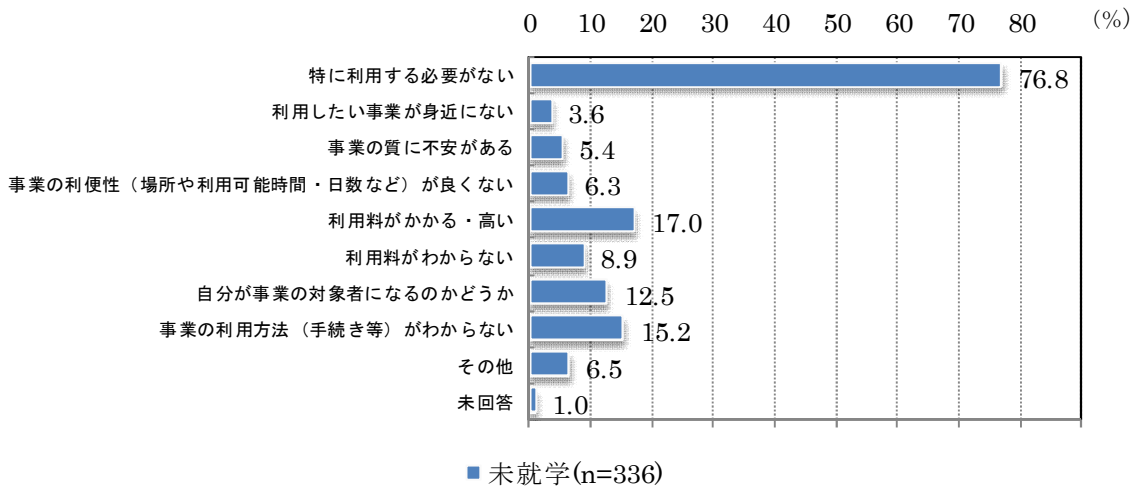
◆私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業【複数回答】

◆私用、親の通院、不定期の就労等の目的で事業を利用する必要性

◇ 一時預かりの利用割合が上昇しています。

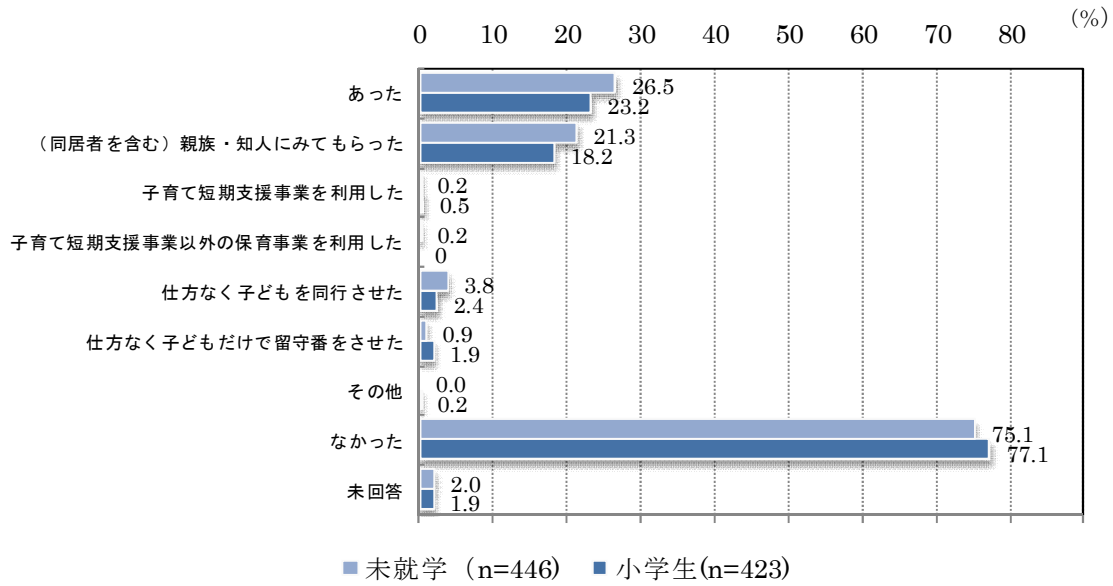


#### ◆「利用していない」理由

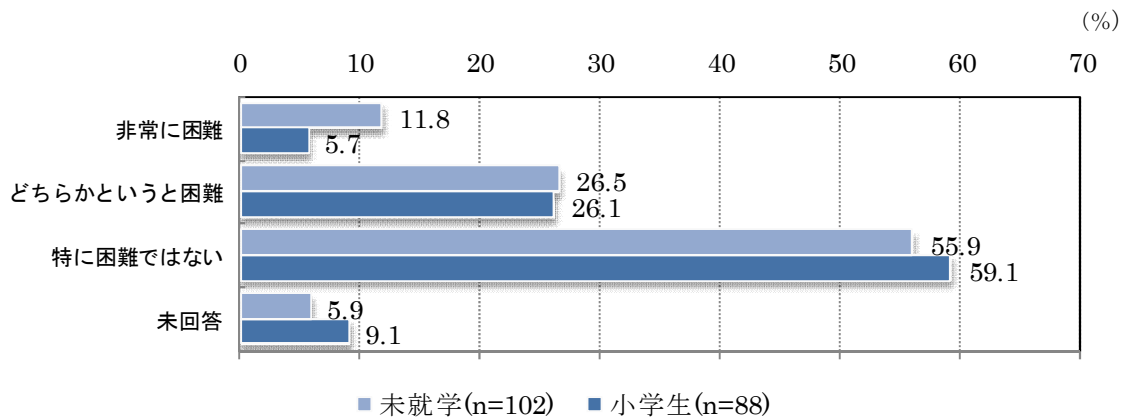


## (2) 宿泊を伴う保護者の用事（冠婚葬祭・家族の病気等）の対応方法

### ◆お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらったこと



### ◆(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった際の困難度

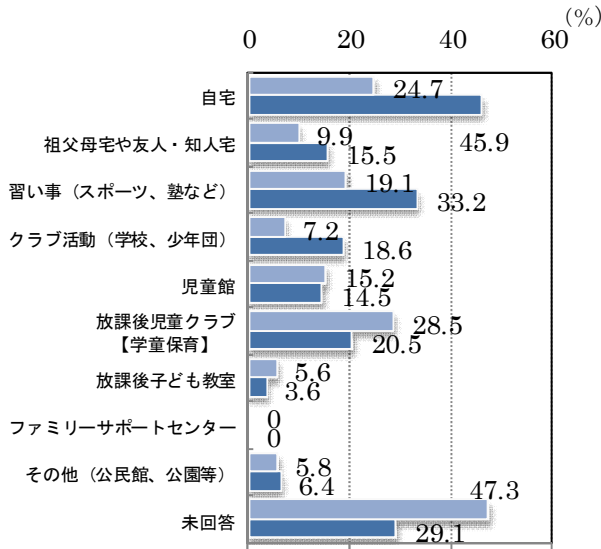




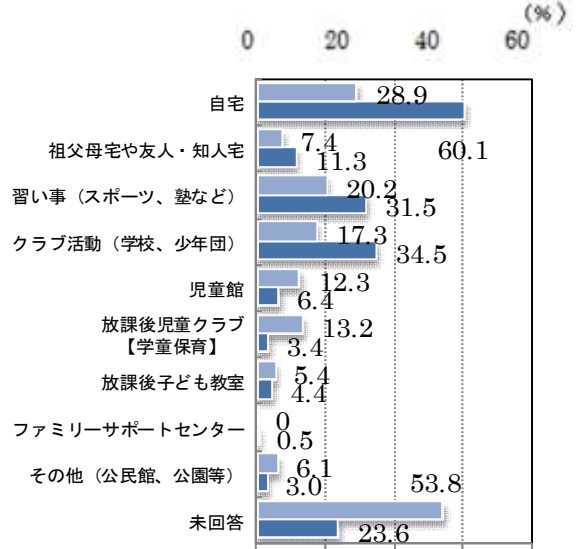
# 8. 放課後の過ごし方について

## (1) 放課後の過ごし方の希望場所

◆小学校1年生～3年生【複数回答】



◆小学校4年生～6年生【複数回答】



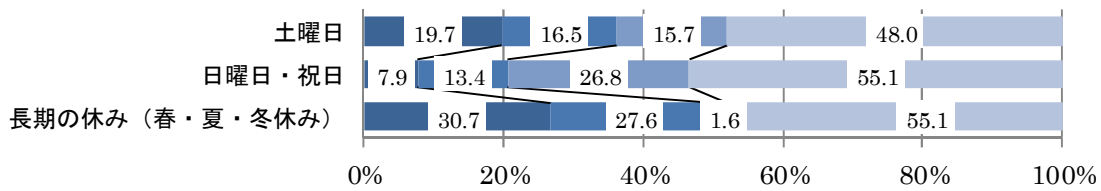
■ 未就学 (n=446) ■ 小学生 (n=220)

■ 未就学 (n=446) ■ 小学生 (n=203)

## (2) 土曜日、日曜・祝日、長期の休みの学童クラブの利用希望

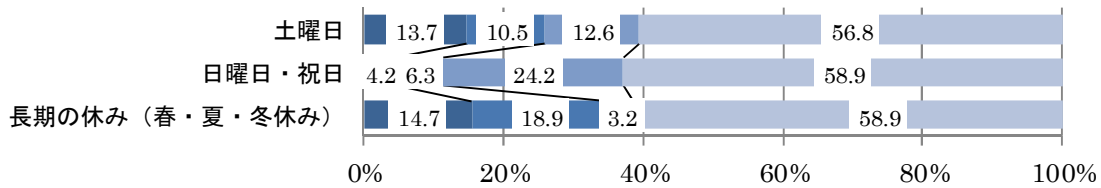
◆未就学児、小学生の利用希望

未就学 (n=127)



■ 低学年の間だけ利用したい ■ 高学年になっても利用したい ■ 利用する必要はない ■ 未回答

小学生 (n=89)



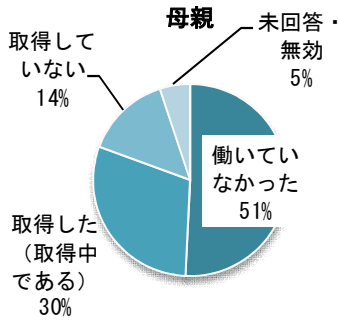
■ 低学年の間だけ利用したい ■ 高学年になっても利用したい ■ 利用する必要はない ■ 未回答

## 9. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

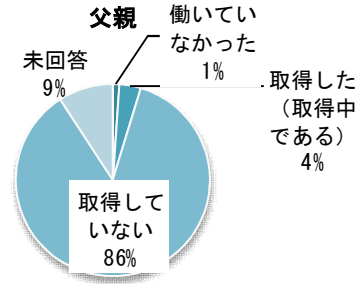
### (1) 育児休業の取得状況（未就学児童の保護者）

◇父親が育児休業を取得していない割合は上昇しており、まだまだ難しい現状であることがうかがわれます。

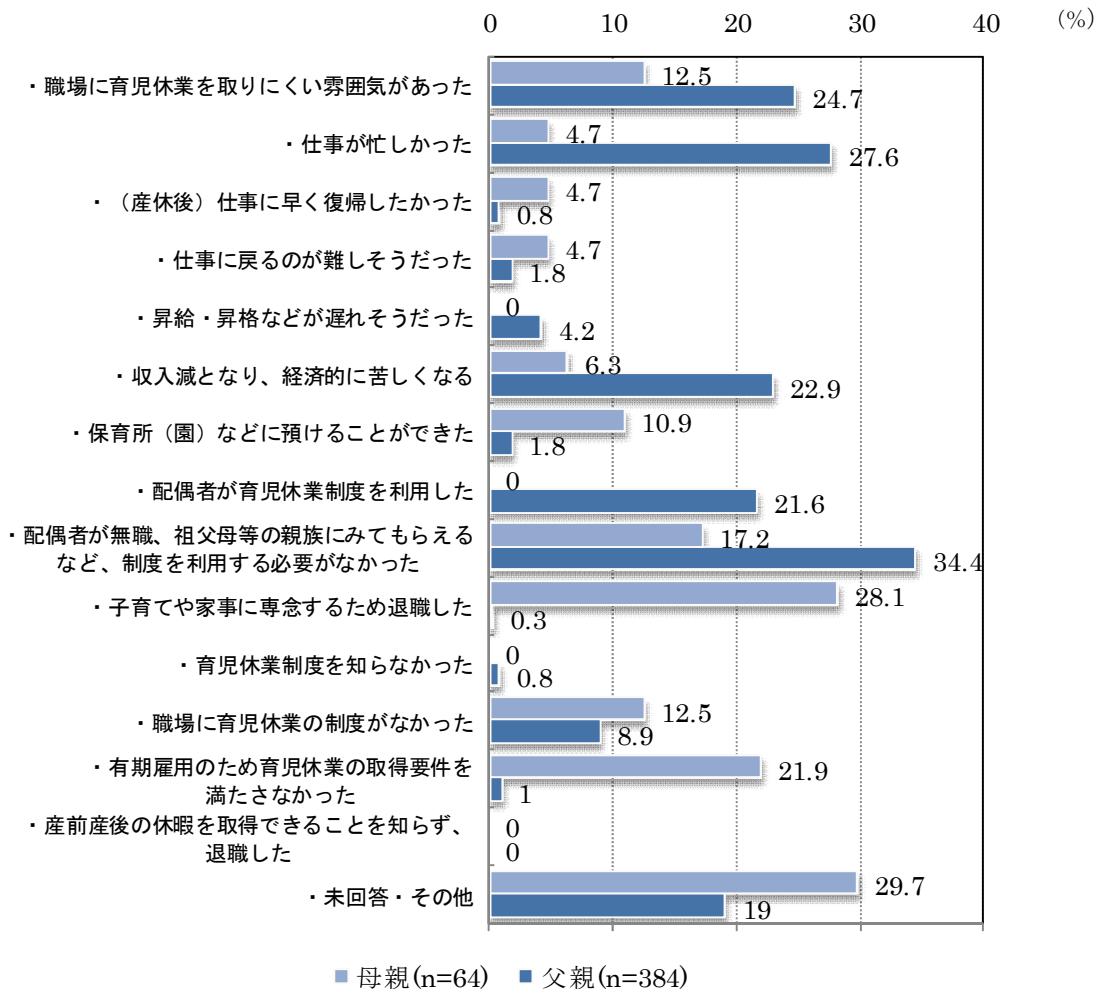
#### ◆母親の育児休業取得状況



#### ◆父親の育児休業取得状況



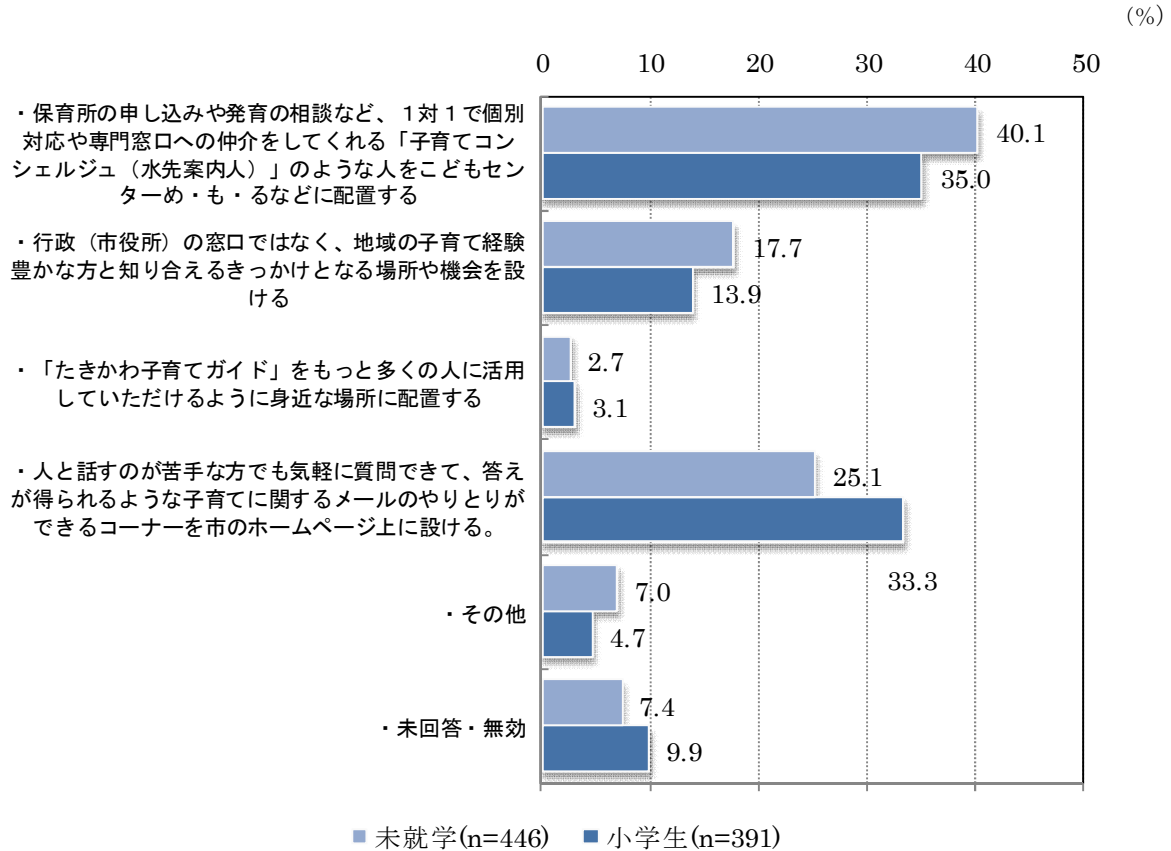
#### ◆育児休業を取得できなかった理由【複数回答】



## 10. 子ども・子育て支援全般について

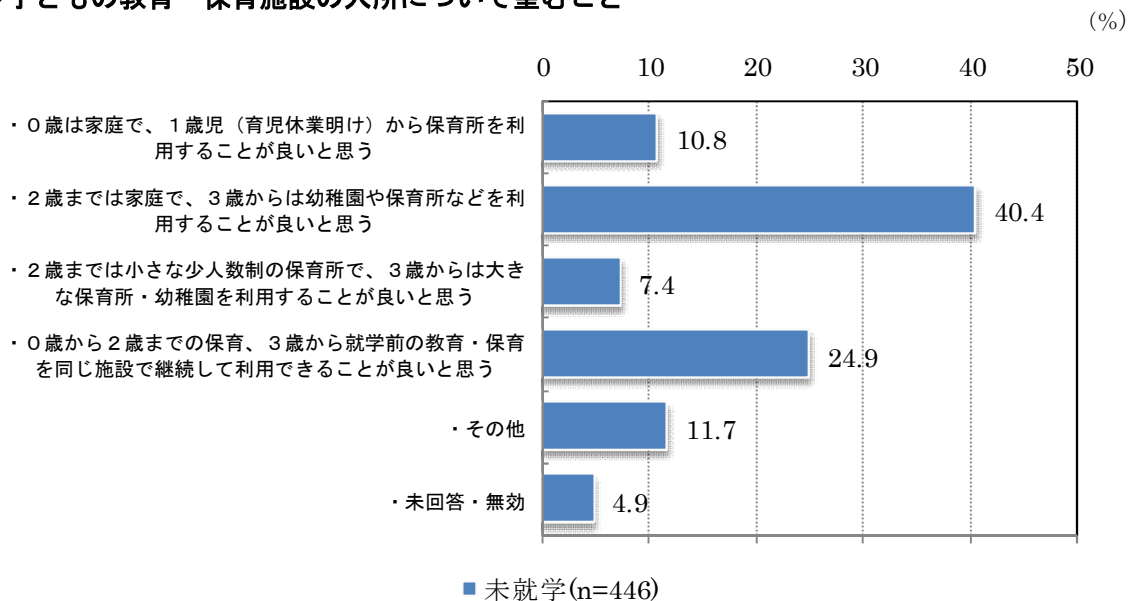
### (1) 子育ての支援体制について望むこと

#### ◆子育ての支援体制について望む体制や仕組み



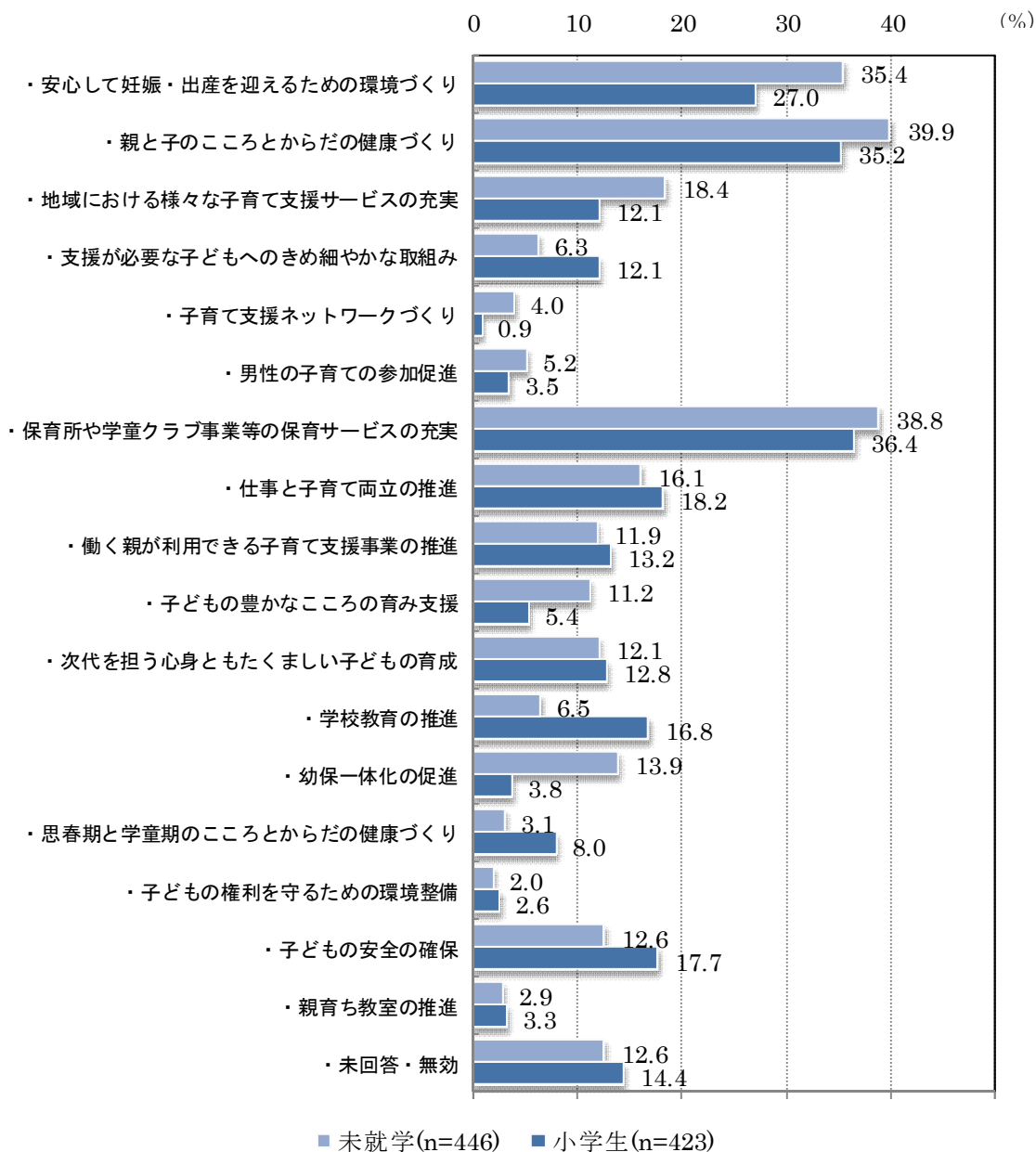
### (2) 教育・保育施設に対する考え方について

#### ◆子どもの教育・保育施設の入所について望むこと



### (3) 滝川市が今よりもっと子育てしやすいまちとなるために重要なこと

#### ◆重要だと思われる主なもの【複数回答】



◇ 上位3位までは、前回と変わらず、未就学児をお持ちのご家庭も、小学生をお持ちのご家庭も同じ項目となりました。

## (4) 滝川市に転入した方で、こんなサービスがあればと思うもの

(※誤字等も含め、原文のママ掲載しています。)

### ◆主として他自治体の良い点

- 以前札幌に住んでおり、長女の言葉の発達が遅かったので、発達支援センター(週1)や言葉の教室(月1)に通っていた。その際どちらも無料だった。こちらに来た当初もまだ少し心配だったので支援センターに相談したが、通うには利用料1回500円ということで、ちゅうちょしてしまった。お金の心配をしなくても利用できるとういと思った。他は、幼稚園が少ないので選択肢が無い！！小児科専門も無い！
- 旭川から来ました。滝川市ではいつになったら小学校校舎または近接する建物で学童保育(給食つき)が導入されますか？学童遠すぎます。「子育てしやすい」「子育てしながら働ける」聞いて呆れます。
- 砂川、岩見沢、ちっぷべつみたいに子どもが遊べる施設があれば良いなとすごく思います。滝川は良い施設がありません。遊べる施設ができれば、子どもと家にもっている人も、色んな人達が集まってそこでコミュニケーションをとったりストレス発散したり毎日同じ位の子どもを持つママ達とおはなしする楽しみができると思います。子育てセンターは土日やっていないし、午前中だけと利用しづらいです。小さい子がいる親は、同じ事を思っている人が多いです。ここに記入しても変わらないと思いますが…どうにかしてほしいです。
- 子ども遊び場が少なすぎます。スマイルビルなどの空き店舗を使って、千歳にあるような「ちっくる」旭川の「もりもりパーク」岩見沢の「あそびのひろば」の様なものを作って、自由に遊べ、市外からの来客も来てもらえたり、また、その場所でいろんなイベント、親を対象とした、イベント等があると大変大変うれしいです。子育てで親がつかれて、誰にも頼れない時、親がにげられる場所(例えば子供と一緒にでもOK)1泊できる場、短時間でもOKな場所、かけこみ寺的な(シェルター?)物もあればうれしい。お金がかかってもいいので。助けて欲しいです。近場に誰もいないんです。頼れる人が！！
- 砂川市こどもの国のような子供がのびのびと遊ぶことができる公園(遊具や水遊び場等)、また天候に左右されず遊ばせる屋内遊び場があれば良いと思う。支援センターのおもちゃライブラリーの時間と予定が合わなければ滝川市で子供向け遊び場がほとんど無く残念。
- 他市町村ではゴミ袋がもらえたり(オムツ処理負担軽減のため)、保育料の軽減があったり、市町村内で使える商品券がもらえたり等、子育てをする家庭の経済的負担を減らす取り組みが行われている。滝川市の財政も、あまり余裕がないことは承知しているが、子育て家庭に対する経済的な支援の充実をお願いしたい。
- 砂川市のようにオムツの券やゴミ袋の支給。

### ◆主として幼稚園・保育所・小学校

- 幼稚園が少ない。昨年しらかば幼稚園が先生の確保が難しい為、今年度の募集をなくしたが、そのような事が起こると他の幼稚園にも負担がかかってしまうと思うし、新十津川に園児が流れては滝川市の利益にはならないと思う。1つの幼稚園がパンクして、先生達の負担も増え、園児1人1人を見てももらえないのは大変困る。保育士を増やすか、幼稚園を1つ増やすかして、少人数でも質のよい保育をしてほしいと願う。小児科や産科が少ないのも問題だと思う。子育てしにくい。
- 保育園が入れなくて困っています。
- 子供が少なすぎて、できることが少ない。小学校入学後のクラブ活動等の学校単位ではなく、市内全域を対象とした活動(現在の陸上クラブの様な)の情報が、まとまったものがあると良いと思う。広報や学校だよりの配布物を年度始めに出していただくと助かる。
- 病児保育がないこと。

- 働いていると急な子どもの体調不良で仕事が休めない。子どもを見る人がいない(両親が遠方のため、大変だった)病児預かりが中央保育所にあったが登録が必要。普段通っている保育所にも病児保育があつてほしかった。
- 病児保育があると助かる。発熱したり、体調不良だと保育所に登所できないため。
- 病児保育がないので子どもの体調が悪いときは必ず仕事を休まなくてはならないこと。
- 学童に3年生までしか行けないこと。

### ◆主として費用・助成・補助

- 滝川市には小児科が充実していない。子ども達が遊べる施設がない。有料でも良いので何か作ってほしい。主人の転勤でついてきただけなので、このまま永住したいとは全く思わない。子育て世帯には全く優しくない都市。近隣市町村には中学生まで医療費無料の所があるが滝川市もそうになってほしい。せめて小学生の間とか。
- 幼稚園のバス代が高すぎてびっくりした。幼稚園が少なすぎて選べない。
- ゴミ袋の配布。
- 以前は住んでいた所では、オムツなど日常的な消費に関するサポートがあり助かっていました。
- 医療費負担の年齢をあげてほしい(持病のある子や、小学生くらいだとまだまだひんぱんに病院にかかるのに小学生から負担があるのはつらい) インフルエンザ予防接種の補助(子どもは接種2回で6~7千円!子どもが多いと負担も大きい)。
- 病院で保育料の一部を負担してほしい。院内保育所があるのにまったく安くない。
- 小学生から医りょう費がかかることを知りました。せめて、中学生くらいまでは1割又は初診料のみとかの子供がいる家庭に優しい市にしてほしいです。実際は無料のほうが、住みやすくなると思います。
- 他の市には妊婦検診が無料(全て)だったり、1年間、ゴミ袋が無料で配布されていたり…という話を聞くと、滝川市はさみしいなあ…と感じたことがあります。
- インフルのワクチンを無料にしてほしい(隣の市や町は無料…)。
- インフルエンザの助成がなかったこと。
- 旭川市から転入してきました。旭川では子どもの出産時に市から燃やせるゴミの袋を10L袋、2万円分もらいました。子育て支援センターもたくさんあつたので利用しやすかったです。
- 保育料が高い。
- 18歳まで医療費を負担してほしい。
- 医療費無料をせめて中学3年生までにしてほしい。子どもが遊べる場所(休日、夕方まで)がとても少ない。(支援センターも平日の午前中だけだし、おもちゃライブラリも年齢や時間が決まってるので利用しづらい。)近くだとちっくるみたいな所があつてほしい 地元(山形)に比べて子育て支援に力を入れていないように感じる。
- 医療費、18才までとは言わないまでも、15才くらいまでは、免除でいいと思う。そうするべき。
- 医療費が小学生でもかかるのにおどろいた。
- インフルエンザなどの予防接種の金額の負担。医療費を高校生まで免除。
- 保育料は一律にしてほしかった。所得関係なしで。
- 医療費を小学生も無料にしていきたい。小児科を増やしてほしい。幼稚園を増やしてほしい。
- ①こどもが産まれる前に転入したので、どんな支援があるのか考えたこともなかったのですが産まれて毎年、通院しなきゃいけないようになってから保険料の免除が年長までだと知りへこみました。



- ②午前中あそぶ場所はあるのに午後から行ける場所がなくて不便でした。滝川も土地があるのだから「ちつくる」または「であえーる」の様な施設を作ってくれば良いのにと何度思ったことか…屋根があるところが良いところ！雨でも暑い日でも行けるのが良い。
- ③幼稚園の利用料が高すぎる。制服も高すぎる。
- ④災害の際、国道でわけるのはどーしてなのか知りたかった。(電気を通すとき)「どこで食糧がもらえる」という情報は結局ケータイで知った。ケータイがなかったらわからなくなると思った。
- 新十津川町の様に、子供の病院代を無料にして欲しい。病後児保育を利用したが迎えの時間が17時まででは仕事を早退しなくてはいけなくて、あまり意味がなかった。せめて、18時だったら良かった。3人目の子供の保育代が無料にならなかった。滝川だけなぜですか？困ります。
  - 近隣の市町村で子ども支援について色々な対策がありますが、滝川市は全くなかった事に驚き、残念に思いました。例えば、中学卒業まで医療費の無料化・保育所、学童の無料・学校給食の無料など、子育て家庭への支援が少なすぎると思います。道内の市町村ではこのような支援をしているところもあります。
  - 予防接種や医療費助成・保育所(熱でも預かってくれる)・学童保育が満杯で4年生で対象でなくなるので、小学6年生までに拡大してほしい。
  - 小学校からかかる病院代。小学校で3割は会計で苦しい時がある。
  - 医療費が小学入学と同時にかかること。他市では高校生まで無料だった。  
近隣の市町村では子育て支援が充実しているなどと思います。医療費の補助や学習サポートや子どもたちのための支援が滝川市は十分ではないと思います。
  - 無料で(子育て支援)体育館(ちょっと狭くてもよい)やぬりえや絵本や、子どもたちだけで遊べる(預けていける(小学生以上))施設があれば助かる。(他県にはあったので)
  - 中学まで医療費無料。
  - 他市と比べ子どもの医療費に関する助成が少なく驚きました。(今までは中学生まで無償でした)また子どもが室内でのびのび遊べる施設が少なく、冬期間など特にかわいそうだと感じました。子どもが参加できる講座やイベントもとても少ない印象です。滝川市立病院のインフルエンザワクチンが他よりも高く値段で接種をやめている人が周囲に多く、その点にも驚いています。
  - スキー用品購入で、レンタル費用もだしてもらえると助かる。
  - 病院代がかかる。3人もいたら大変。無料がいいです。
  - 医療費の無料化(18才まで)、第2子以降の助成金(出産ごとに100万円程度)。
  - 周辺市町村の中で、滝川市の子育てに関する費用補助(医療費など)が少ない。子どもが少なすぎて、行事や親の負担が大きい。早く第二小学校と合併してほしい。
  - 水道代が高すぎる(札幌の2倍!)夜道が暗い、危ない、照明が少ない。習い事の全国大会補助金が少ない!  
滝川市は5千円、砂川市は5万円、札幌市は全額!
  - 子ども手当が少なすぎる。病院医療費、小学生までは市が負担して頂きたい。
  - 医療費がかかる。
  - 医療費が無料でなくてびっくりした。以前住んでたところは中学生まで無料だった。
  - 子どもの医療費の控除が他の市と比べて断然悪いと思います。
  - インフルエンザのワクチン無料化。
  - 医療費の補助が小学生からなくなる事。インフルエンザ予防接種の費用補助がない事 近隣市町村との差がありすぎる。
  - 他の都市ではフッ素塗布は無料でした。

- 子供の医療費を無料にして欲しい。
- 医療費が小学生からかかること。
- 子供の通院費等病院にかかった費用が市内で使用できる商品券等に変えて助成してくれるサービスがあるとありがたい。(以前住んでいた市町村がそのサービスをしていた為) 1~2歳位までの子供がいる家庭にオムツ等でゴミ袋の消費が多いので燃やせるゴミ袋の支給等(半年に1回のペース)
- 医療費が小学生から3割負担なことに驚いた。小児科や産婦人科など個人病院が少ないことに驚いた。冬に室内などでもっと自由に遊べる場所をつくってほしい。
- 他市では医療費が小学校、中学校がかからなかったのもその方面でサポートしてもらえたらありがたいです。市役所は、わかりづらい。説明不足。窓口もわかりづらいです。母子に対する待遇がよくなるといいと思いました。金銭面は特に。
- インフルエンザなどの予防接種の金額の免除 医療費を高校生まで免除。
- 病院代とか医療費の負担が大きすぎる。

### ◆主として遊び場・施設

- 時間に限らず遊べる施設。(おもちゃライブラリーは有難いが、日時が決まっていて利用しづらい)。
- 雨天、雪の時、室内であそぶ場所(時間問わず)があれば良いと感じた。
- 公園の少なさに驚いた。もっと子どもが外で遊べる所を増やして欲しい。
- 以前、「とんとん」という子育て中のお母さんが子どもを連れて行く場があったようですが、滝川に来た時にちょうど無くなってしまっていて、もったいないと感じました。
- おもちゃライブラリーなども大変ありがたいシステムそして、ステキな先生ばかり！！ではあるのですが(例えば「ちっくる」(秩父別町)のようなこちら側のタイミングで自由に行ける遊び場があるといいなあ～。と思います。(特に冬場…(;))
- 子どもが遊べる場が少ない。おもちゃライブラリーは時間が短く、日が決まっていて利用できないことがある。子ども広場は子どもがたくさんいて狭く、おもちゃが壊れていたり、使いづらい。もっと広々と遊べる施設が欲しい。(例えば旭川のもりもりパークのような所)
- 土・日・祝に子どもを見てくれる場所があると助かります。
- 子供が自由にいつでもあそべる施設。
- 子供を遊ばせたり、交流する場が少ない。気軽に子育て相談できる電話相談口や窓口がない。子供専門の臨床心理士がいない。発達支援センターのような療育施設が1つしかなく、周知されていない。児童手当用の所得証明書、おむつゴミが有料、小児科病院が少ない、託児付の歯科がない、等、子育てに力を入れていないのだと思った。
- 子供のあそび場がほしい。特に冬。平日は仕事。土、日は子供と遊んだり家事。屋内のあそび場が図書館か美術自然史館、子供科学館しかなく、今年は美術自然史館も休館になり、煮詰まってしまう。ちっくるのような場所がほしい。または、せめて美術自然史館を開けてほしい。土、日、の天候に左右されないあそび場がほしい。
- 冬場に室内で思いっきり遊ばせられる場所があればいいと思います。
- 公園の遊具が古く(歩いて行ける公園)、車で行くしかなかったのも、そこが少し困りました。
- 集まる場ではなく、あいた時間や週末など自由に遊べる施設があるといいです。
- 他の市・町・村では、多くある土、日をとわらない、子供をあそばせられる場所。他の市を視察して、子育ての施設を研修する。



- 大きな公園や遊具のある施設が少ない 小児科の病院がない
- 子供が体を使ってあそべる場所が全然ない。新十津川みたく医療費が高校生まで無料だと助かる。
- 土、日の遊ばせる所が滝川になくびっくりした。いつも周辺の町に連れていったりしていた。
- 「ちっくる」のような、気軽に安心して子どもを遊ばせることができる施設がない。子どもを遊ばせる場や今後入学する小学校の施設が他地域より古く、安全性や環境に不安がある。
- 幼稚園から帰ってきた後、遊びに行く場所、遊べる所がなく困った。公園に行ったりしていたが、近所の公園には他の子供が遊んでいるのはほとんどなく、いつも自分の子供だけで、子供はつまらなそうにしていることもあった。午後からも幼稚園児も使えるように支援センターなどを毎日もしくは、週に何度かでも、利用できるといいなと思った。
- 近くの公園に行っても小さな子供が誰もいなくて母子ともにショックでさびしい気持ちになったのを覚えています。スーパーに行っても、ほとんどが日中はお年寄りばかりで・・。午前中の児童館を毎日開放したらどうでしょうか。また児童館にも昔からの古い本がたくさんあります。図書館だけではなく、児童館の本も貸出できるような活用と見直しがあったらいいかも。と思いました。
- 美容室や自分の病院の時、2.3時間気軽に子供を見てもらえるところがあればよい。市とかだと、いちいち申込みするのが大変。
- 市内に子供が遊べるスペースが全然ないので、雨の日など室内で遊べる場所を作ってほしい。
- (転入当時1才)子育てサークルが午後からしかなかったので、行きづらかったです。午後はお昼寝することが多いです、上の子の幼稚園のお迎えがあるため、参加が難しいです。大きな公園や、室内遊戯施設がなく、不便を感じました。一時保育は空きがあって預けやすかったです。
- 小さい子どもを遊ばせる施設が少なくて困った。気楽に子育てに関して相談できる人がいなかった。
- 外で遊んでいる子供が少ないなあと思いました。公園が、もっと人が集まれるように充実していたらと思いました。
- 結局、近隣の市外へ行ってしまった。(公園へいくのに)美味しいごはんやさんもあるのでイベントも多いといいなと思いました。

## ◆その他

- 転入時に市の窓口の人に子供の遊べる所を聞いた所、無いと言われた為自力で探した。支援センター等に関わらず公共、民間問わず一覧にして欲しい。
- 転入後、仕事はしていて職場の人との関係性のみでした。が、出産を機に一時退職すると滝川市のことがよくわからず孤独感が強かったのが今も鮮明な記憶です。
- もう少しわかりやすく説明してもらえたらうれしかったです。すぐ3歳検診があったがよくわからなかった。転入してきた人同士のコミュニケーションとる場があると嬉しい。
- 転入して間もない母子を対象とした説明会や交流の場があったら嬉しいなと思った。
- 保育所の空きがない。等、冷たい対応だった。(市役所の方) 親身になって相談に乗ってもらえる方があまり居ない。場所もない。休日、子どもを安心して遊ばせる施設がほしい(屋内遊園地)。
- そもそも情報発信が足りないと思います。意欲が無ければ滝川市離れが進んでいくのでは？ 不満はあります。気軽にメールで相談 複数の子供がいる場合外出が困難のため、訪問して色々相談にのってほしい。
- 気軽に相談できる電話やメールでの相談窓口。なかなか相談しにくいので、どんな方が、どんな風に相談に乗って下さるのか、写真や実際の相談メールのお返事などをどこかにのせてもらえると、とても安心して相談しやすいと思います。車がないと、なかなか児童館などに足を運べないので。転入してきて知り合いもない中での初

めての育児がとても不安だったので、子育て経験のある方達とお話ができ安心できるような、相談できるような、集まりなどがあつたらよかつたなと思います。

- もっと気安く相談できる場があるといい。母子手帳をもらいに行った時に栄養士さんに色々言われて泣いた。→質の良い人材を配置してほしい。子どもがうまれてからも、栄養士さんがこわい、相談できないという話を耳にした。不妊に関する事も相談できる場がほしい。
- ファミリーサポート、登録するのもいちいち面倒な上大変。たまたま担当になった人の対応が最悪だったので会員証が送られてこなかったり電話確認しても「認識の違い」みたいな事を言われたのでかなりたつてから届いた会員証や会報などはすぐに捨てたし利用しようと思わなかった。気軽に利用できるサポートの方がありがたい。
- 保育所入所にあたり、子育て支援課の方の言葉遣いや態度がものすごく失礼で夫婦共に嫌な思いをしたことがあります。その時の相談内容は入所に関してのみしか話すことができませんでしたが、他に同じ様な窓口やサービスがあれば色々相談できたのと思いました。年齢で軽視されることのないよう、同じ子育て世代の方がサービスをされると良いと思います。
- 全てにおいて、子育てしにくい環境である。
- 小児科が総合病院にしか無いことに驚いた 陣痛タクシーが必要 おむつを捨てるためのゴミ袋の支給をしてほしい。子育て支援センターに週1回の限られた時にしか行けないのはおかしい。職員の考えかたが古く、考えを押しつけてくる。(一部の人) 一時保育は0才からやってほしい(育児ノイローゼ 産後うつ)を減らせるのでは!) 家に来て家事をしてくれるファミサポがあれば良い! ベビースイミング! ベビーの習い事がほしい
- 予防接種についての案内が紙だけでいまいち分かりづかつた。
- 高齢者向けのサービスばかりで、子供向けのサービスが少ない。周りの市区町村のほうがしっかりやっていると思う。子育てに関する滝川のやりかた、今後の方針が見えず、高齢者の為の町になっていると思う。
- あれば良いサービスとして、年3回位子供用品のリサイクル市があれば利用したいと思う。使わなくなつたベビーカー・ベビーベッド・チャイルドシート等大型の物は捨てるのにお金がかかるし、サイズアウトした服や靴も子供の成長は早いので3か月も使わないから美品だけど知人がいないので欲しい人に譲りたい。
- 他の市町村に比べ支援が少なすぎる。赤字のくせに給料が多すぎる。家を建てるときは転出予定です。
- 滝川市に29年(平成)に転勤できて子どもを授かりましたが、子どもを産むのは砂川市でないとダメという事。マタニティーキーホルダーも配布していないし、陣痛タクシーも無いので、子どもを産むまでの準備段階がとても不便です。子どもを産みたくても、病院など大事な所への利用への利便性が全くないし、整えてないと思います。
- 転勤が2月に決まつて、すぐ幼稚園に電話したが、1つ目は断られ、2つ目で受け入れ可でしたが、もし断られていたら大変だつたと思います。市や幼稚園のホームページに、そういう情報があれば便利だなと思いました。転入者同士の交流のお知らせが届きましたが、幼稚園の時間と重なるので参加できず残念に思いました。定期的に歯科検診のお知らせも届きますが、幼稚園でも歯科でも検診を受けているので不要だと思っています。子育てについてもっと情報があれば、と思うことが多々あり、ホームページの情報が不足してると思います。(幼稚園の放課後遊べる施設の情報など。)
- 冬は公園除雪してほしい! 雪あそびする場所をつくりたい。
- 子供の予防接種についてももう少し詳しく案内してほしい 接種時に、次回の接種時期や、接種できるワクチンの種類など。
- 滝川市だけではなく、近隣の市町村の子育て情報も提供して欲しいです。利用できる施設やイベントなど。まず、出産する場所がないこと、小児科に限られていること、子育てに力を入れているとうたっているわりに子育て世帯に何もサービスがないことに驚き不満? といふかよく分からなく戸惑つた。札幌みたく2歳児までもえるゴミ

の袋をもらえたり、何かあったらすぐにみてもらえる病院があっほしい。市立病院じゃ不安なので砂川まで行きます(夜間)。もっと子育て子育てというならば、安心して産んで育てられる環境を整えてほしいです。

- 札幌で児童発達支援へ通っていたので滝川へ転入し発達支援センターのレベルの低さに戸惑った。もっと支援が必要な子供に対しての支援ができるように訪課後デイサービスだけでなく児童発達支援を充実してほしい。小学校での通級教室も札幌ではことばの遅れている未就学児に対しても通級へ通えたので滝川は通えない事に戸惑った。小さなうちからの必要な支援が受けられず転入したこと後悔しました。
- 小児科が少ないこと。幼稚園が少ないこと。
- ワクチン接種の予定をわかりやすく、個別で予定を立ててほしい。
- 子育て支援に関して、滝川は少ないと思う。もっと子供のいる家庭に色々な支援があっても良いと思う。
- 子育てというより助成の時に有料でも良いけど ダウン症検査とかやってほしい。注射でわかる(クアトロ検査) 転入した際、以前いた市にくらべると保健士さんなどの対応がそっけなく感じました。子供の予防接種検診の時ははがきなどで知らせてくれたらいいのにと思いました。
- 市内便利マップなんてあったらいいな。と。例えば、ここではオムツがえシートがあるとか、子連れでランチできるお店とかの情報。
- 支援者の専門的知識の向上 個別に配慮した相談支援 乳幼児健診の医師の配置(18M健診までないのは不安) 予防接種の助成。
- 今まで旭川、稚内に居たことがありますが、滝川市が一番支援が少ないと思いました。
- 3月に転勤してきて、地元にいる間は、保育園に預けてました。こっちに来てから、一日ずっと一緒にいるのが、ストレスで育児に疲れてしまった時もありましたが、今は生活にも慣れて、楽しく過ごせてます。病院が少ないと思いました。予約もとれない。産婦人科(個人)があれば良かったなと思います。
- 説明が少なく、転入時書類を「読んでください」と渡すだけ。窓口ですぐ対応してくれないので話しぶらい。
- わからないことだらけだった。まずどの窓口に行けばよいかわからなかった。子育て支援だと思ったら「それは福祉課」と言われ、同じ内容を福祉課で説明したこともあった。わからないからこちらも説明(相談事)が足りないため、職員にも伝わらなくて、長々説明せざるを得なかった。とても疲れた。中にはベテラン職員の方は察してくれた人もいる。学童もお役所的で融通(時間とか)がきかない。きっちりしている。
- 転入した当時は車がなくて、児童館などに簡単に行けなかったのも、電話やメールでの相談がしやすいと良かったです。どんなふうに返事が返ってくるのか不安だとなかなか相談もしづらいので、具体的に他のお母さん方もこんな様な相談メールなどでこんな風に答えてくれますよ・・というようなことが、どこかに何例か表記されていたりすれば小さなことでも相談を気軽にできたのかなと思います。周りに頼れる人がいなかったのも、入院などの緊急時にすぐ利用できる場所があればよかったです。急な入院で付き添って母親も入院なので、他の子どもたちをどうしたら良いのか、いつも入院するたびに困っていました。荷物を取りに行ったり、食べ物を買いに行くのに付き添いを交代してもらえたり、一晩でも緊急で預けるところがあれば助かるなと思いました。病院は忙しくて付き添いの交代はできないと言われ、主人の仕事が終わるまで子どもたちのおむつもミルクも食べ物もない状態でかわいそうでした。
- 家庭に訪問して、市の子育て支援事業について説明してくれたり相談に応じてくれるシステムがあつたらよいと思います。子どもが小さいうちはなかなか行動しづらいかと思います。こちらから調べたりする時間もないので訪問して短時間でも説明してくれたら・・と思います。
- 病院や公共施設等、場所や利用時間がわかりにくかった。子どもに関する制度やサービス、施設等がすべて載っているガイドブックのような物が転入時に配布されると良いと思う。医療費無料期間が小学生まで対象になると良いと思う。

- 2才頃までの子どもと親が集まれる場所もしくは情報の提供。転入手続き時に市役所で受け取れる有用な情報がほぼなかった。
  - 地元ではなく、知人・友人がいなく、気軽に相談できる人がいなく、孤独に感じた。気軽にお話しし、友達が作れる機会がもっとあれば、参加できる可能性が増えると思う。
  - 乳幼児健診の日数を増やしてほしいと思いました。他の地域に住んでいた時、1歳児健診時に絵本を1冊もらえるというサービスがありました。子どもに絵本を買いかけにもなりました。その時はボランティアの方が待ち時間の間に本を読んでもらったりしており、兄弟がいる場合とても助かると思いました。
  - 以前住んでいたところは、乳児検診のつどハガキでお知らせが来ていましたが、滝川市はそれがなく、自分で検診の日を把握していなければならず不親切だと思いました。子どもがいると、日々忙しいので、その都度お知らせがあると助かります。またフッ素塗布が有料なのにもびつくりしました。こんなサービスというより、もっと子供に対して全体的なサービスを考えていただけたらと思います。
  - 子育てサークルは母親同士でグループが出来ていて入っていけない雰囲気がある。そういう雰囲気をなくしてほしい。
  - 子どもの遊べる場所一覧を転入時に欲しい。
  - 子どもが小さかったこともあり、休日の遊び場などがよくわかるものや、近隣の未就学が利用できる施設を紹介してくれるものがあると良いと思った。市内の公園一覧などが一目でわかるものなど。
  - ファミサポは緊急時に使えないし利用前の登録など大変でさほど役に立たない。赤ちゃんから小学校4年生くらいまで気軽に利用できる一時預かりなどがあればいいと思う。
  - スポーツ施設が自由に利用できなかつたり費用が高いと感じた。公園やスポーツ施設の整備、費用の見直し（市民はさらに低額、または無料）。
  - 子どもがかかれる病院のガイドがあつたら心強いと思います
  - 妊婦講習とか保健センターで遊ばせたりとかいろいろな支援に参加させて頂きました。感謝しています。また一の坂保育所で急きょ何日か2才くらいの時に預かってもらったのも助かりました。送り迎え(兄弟の)とかお手伝いしてもらえるサービスがあつたら助かります。
  - なし。特に期待もしていない。
  - 子供と行ける歯医者や、子づれでも安心して行けるごはん屋さんなど、をいちらんにした、滝川市マップ等があると、わかりやすいかと思います。そして、そんなお店には、ステッカーをはると、更にわかりやすいと思いました。
- 今まで旭川・稚内に居たことがあります但し滝川市が一番支援が少ないと思いました。
- 1才の娘を連れて子ども広場などへ行き、他のお母さんとコミュニケーションをとることができました。その頃、車がなかったので、祖父母や友人に乗せてもらっていました。送迎してくれるバスなどあるといいなあと思いました。
  - 児童センターの充実。市の主催するこども向けイベント等参加のため、スクールバスを活用してもらえると参加しやすくなると感じました。ファミサポの提供会員不足で実質託児困難なので、有料で3～12才児を預かってくれるサービスがあるといいと思います。人口として需要がどの程度あるかわかりませんが、ショートステイサービスはほしいです。
  - サービスというより、滝川市内に出産できる病院がないことは、今後妊婦さんにはとても困る問題だと思う。
  - 病院が少なすぎ(小児科)。